

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891400024
法人名	医療法人 青峰会
事業所名	アクティブライフ三瓶
所在地	愛媛県西予市三瓶町朝立7番耕地84番地1
自己評価作成日	平成24年7月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域との交流・つながりを大切にし、ボランティアの受け入れや地域の行事に積極的に参加をしています。</p>
---

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年7月24日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>●毎日、職員は利用者と一緒に食材の買い出しに近くのAコープに出かけておられる。近くの公園や桜並木を散歩したり、地域の桜の名所にお弁当を持ってお花見に出かけておられる。利用者が幼いころ馴染みのある善福寺「山田薬師」のお祭りの際には、お参りに出かけておられる。毎年行われる法人のバザーには、利用者が作った雑巾や牛乳パックの椅子を出品して、利用者と一緒に販売された。利用者は、上手に声をかけて販売され、又、ご自分達もバザーで買い物を楽しまれた。</p> <p>●系列グループホーム6事業所で献立を持ち寄り、情報交換されている。調査訪問時の昼食は、郷土料理のさつま汁と、しいたけ等でダシを取った、冷しそうめんを作っておられた。ダシに使ったしいたけは、甘辛く煮て刻んで添えておられ、利用者は、「おいしいね」と、お代わりをされていた。そうめんの上に飾るネギやミニトマトは畑で採れたものを使っておられた。利用者は、コップや箸、盛り付けられた器等を、ワゴンに乗せて、それぞれの利用者の席に配っておられた。</p>
---

## V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 アクティブライフ三瓶

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 林 香代

評価完了日 24年 7月 1日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 開設時に職員同士で考えた理念を掲げ、日々の業務でもその理念に沿った介護を目指し取り組んでいます。	
			(外部評価) 事業所開設時に、「入居者の声に耳を傾け、意志を大切に信頼できる関係を作ります」「気配り、目配り、心配りを忘れずに安全に安心して生活できる環境を作ります」「外出の機会を作り、地域との関わりを大切にしていきます」と、事業所理念を3項目作成して掲げておられる。職員は、日々の中で、理念に沿って振り返ったり、転倒等の事故が起こったような場合には、理念に立ち返りながらケアを見直すようにされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日々の買い物、散歩、地域行事への参加や、ボランティアの方々との交流を続けています。雑巾やペットボトルの蓋・ベルマーク等を学校に寄付したり、職場体験の受入れも継続しています。又、法人バザーで、一年間かけて手作りの作品を、入居者様と販売しました。	
			(外部評価) 近くのコンビニに、おやつを買いに行かれる際には、店員の方が車いすが見えるとドアを開けてくれるようなこともある。町民運動会に出かけた際には、地区の方が利用者の席を用意してくださったり、利用者も、「宝探し」の競技に出て、地域の方達と一緒に楽しめました。秋祭りに、お神輿や唐獅子、牛鬼等の地元の出し物が来てくれて、利用者のご祝儀を準備しようとするが、職員は、「ホームからするので、一緒に渡していただけますか」と、利用者をお願いして、職員と一緒に祝儀を渡すようにされている。運営推進会議に参加して下さっている民生委員の方が、「職員だけでは手が回らないでしょう」と、年末には芝生を刈りに来てくださった。又、春には、お友達を誘って畑を耕しに来てくださり、野菜作り等も教えてくださった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) いつでも施設見学ができます。年に一回、三瓶地区の方を対象に施設説明会を実施しています。運営推進会議の際やボランティアの方々に、認知症への理解をして頂けるよう説明をしています。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 入居者様やそのご家族、区長さんや民生委員さん等に毎回参加して頂き、運営状況やホームの現状を説明し、意見交換ができています。	事業所では、会議を通じて、グループホームや認知症について地域の方達にさらに理解していただけるよう取り組み、又、地域の方達からの声をサービスにつなげていきたいと考えておられる。地域の方達が参加しやすいような会議を工夫して、いろいろな方に参加いただけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 会議には、2名のご家族と、民生委員、市担当者が出席して下さっている。会議時には、写真をお見せしながら利用者の暮らしぶりを報告されたり、毎回、事故やヒヤリハットの報告を行い、事業所の現状をメンバーにも知っていただけるよう取り組まれている。メンバーからは、「転倒事故が多いようだが、下肢筋力向上のために何をしていますか?」と質問があり、事業所から、ラジオ体操や天気の良い日には敷地内を散歩していることを説明された。外部評価結果の報告や目標達成計画についても話し合い、メンバーからは、「協力できることがあれば、いつでも来ます」と言っていた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 事故や感染症等、発生時には速やかに報告を行い、今後の取り組み等も説明しています。	年1回、三瓶町支所にて、地域の方達に向けて、「施設説明会」を開催されており、町内の介護事業所の管理者がそれぞれの施設のサービス内容や活動を発表されている。又、市の担当者が、介護保険や権利擁護について話して下さったり、事業所間の情報交換の場にもなっているようだ。年4回、介護相談員の訪問があり、利用者の顔見知りの相談員の方が来られた時には、お話も弾むようだ。
			(外部評価) 年1回、三瓶町支所にて、地域の方達に向けて、「施設説明会」を開催されており、町内の介護事業所の管理者がそれぞれの施設のサービス内容や活動を発表されている。又、市の担当者が、介護保険や権利擁護について話して下さったり、事業所間の情報交換の場にもなっているようだ。年4回、介護相談員の訪問があり、利用者の顔見知りの相談員の方が来られた時には、お話も弾むようだ。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関の施錠は夜間のみです。日中は自由に外出可能。危険がないように、職員やご家族で見守りを行います。事故後は直ぐに対策を立てています。自立動作を抑制しないように、鈴やセンサーマットをベッドサイドで使用したり工夫もしています。ホームの日常を知る地域の方に、庭の芝刈り等の協力をしてもらえるので、職員は入居者様への支援に専念でき、とても助かっています。	事業所では、夜間や早朝時、トイレ介助が重なったりする時に、転倒事故が起こる傾向があるようで、職員は話し合い、「見守りを細やかに行う」ことや「利用者を一人にしない」ことに取り組まれ、現在は、転倒事故は起こっていないようだ。法人で2か月に1回、「安全対策委員会」が開かれている。職員が参加して、ヒヤリハットや事故報告を行い、他施設の取り組みや意見等を聞き、参考にしながら身体拘束をしないケアの実践に取り組まれている。
			(外部評価) 事業所では、夜間や早朝時、トイレ介助が重なったりする時に、転倒事故が起こる傾向があるようで、職員は話し合い、「見守りを細やかに行う」ことや「利用者を一人にしない」ことに取り組まれ、現在は、転倒事故は起こっていないようだ。法人で2か月に1回、「安全対策委員会」が開かれている。職員が参加して、ヒヤリハットや事故報告を行い、他施設の取り組みや意見等を聞き、参考にしながら身体拘束をしないケアの実践に取り組まれている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  入居者様から直接又は、ご家族から代弁して頂き個々の要望等の把握に努めています。新聞等での事例報告や、職員間で互いに注意し合いながら取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  三瓶地区の施設説明会の際に、市の職員より制度の説明等があります。現在ホームで制度利用されている方はいませんが、必要性に応じて制度の活用ができるよう支援していきます。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約には時間をかけ、内容を丁寧に説明しています。一度に理解するのは難しいので、面会の時等に話をし、互いに不安や疑問をもったままにしない様にしていきます。契約内容を変更する場合には、文書の配布と説明を行っています。全職員が入居者様・ご家族等に説明が出来るようにしています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  毎月、状態や活動の様子等を、各ご家族に報告しています。面会簿には、意見要望を記帳して頂けます。意見や要望に対して、速やかに対応するように心がけています。	
			(外部評価)  調査訪問時、県外からご家族が来られており、ご本人のそばに座ってお話されたり、他の利用者にも言葉をかけておられた。又、飾られている作品を眺めながら、職員に質問をされていた。事故や緊急時、管理者は速やかにご家族に連絡し、現状について説明してお詫びされており、ただちに、すべての職員で対策を話し合い、今後のケアのあり方をご家族に報告されている。定期受診について、ご家族の要望で、介護タクシーを利用する方もある。家族会は年1回、「敬老会の日」に行っておられ、家族全員で出席されるところもある。昨年は、バーベキューを楽しみながら家族同士の親睦を図ったり、職員はご家族とゆっくりお話して関係を深められた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>毎月のスタッフ会等で各職員からの提案があれば、前向きに取り組んでいます。職員の意識向上の為に、自由に研修に参加できる環境をつくり、研修後は報告会を開いて、全職員が知識共有できるように努めています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々に担当職員を配置しておられ、毎月の職員会議時には、ケアについての悩みや取り組みについて話し合っておられる。又、ヒヤリハット事例についても、原因や対策を話し合っておられ、夜間時等、転倒事故を防げるよう、職員はセンサーマットの購入を法人に要望されて、利用者がベッド上で肩が触れると作動するセンサーを設置されていた。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>登用制度があり、各自が向上心を持ち取り組める環境となっています。年二回職員面接があり、自己目標を立て前向きに働いています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>全職員に研修案内をしています。自由に研修に参加できるように、勤務調整しており、研修後の報告会を行い、全職員のレベルアップを目指しています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>管理者は、運営会議やGH検討会等で、情報を収集しています。他職員も研修等に参加して、同業者との交流の機会があります。</p>	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の健康診断に立ち会い、事前に顔合わせをしておくことで、入居時の不安を少しでも解消できるように工夫しています。今までの生活の様子を聴取し、受け入れ準備をします。入居後一ヶ月以内に施設での生活の状況がどうか等調査しています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 健康面だけでなく、それ以外の要望にも可能な限り対応しています。入居後のご家族の心情等も聴取しています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 要望や困っていることに耳を傾け、必要な支援について検討をしていきます。三瓶地区の施設説明会で得た情報や、施設の特徴・入居申し込み状況等わかる範囲で説明し、色々な角度からサービス内容を自由に選んでもらえるように工夫しています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員が介助をし過ぎないように、出来る事は見守りをしながら共に生活をするという関係性を築けるように努めています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 職員から気持ちの良い挨拶をし、何時でも遊びに行きたくなる環境づくりを工夫しています。ご家族とゆっくり会話しながら現状報告をし、ご家族だからできる事を理解して頂き、共に支える関係を大切にしています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 買い物に出掛けたり、家に帰ってご家族や友人等、馴染みの関係を今まで通り継続できるような支援を行っています。地域のお店を利用することで地域との関わりも大切にしています。 (外部評価) 毎日、職員は利用者と一緒にAコープに食材の買い物に出かけておられ、友人や知人に出会うこともよくある。ご家族と一緒に温泉に出かけたり、外食することを続けている利用者や、遠方からご家族が帰省された際には、親戚も集まり利用者も一緒に食事等される方もいる。時々、タクシーでご自宅へ戻り過ごす方は、職員が事前にご家族に連絡をされて、ご近所の方々とも楽しいひと時を過ごされるようだ。昔から地元にある洋服店が、事業所に訪問して洋服を販売してくれている。利用者はなじみのお店の名前を聞き懐かしがられ、お気に入りの洋服を選んで買う方もおられる。読書のお好きな利用者の方には、ご家族が新しい本を持って来てくださったり、目の不自由な利用者の方は朗読ボランティアのテープを聞いて楽しんでいる。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員は、一人一人との関わりを持ちながら見守りし、入居者様同士のつながりのきっかけ作りをしたり、関係性を大切にしています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約が終了をしても、必要に応じて連絡をとり、相談や支援をしています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活の中、ご本人との会話から意思や要望を聴取しています。ケアプランは、入居前の生活の様子も含め、良い所が引き出せるような目標にして支援しています。 (外部評価) 「寒くなったら編み物がしたい」「旅行が好き」「へビが嫌いだから夏には畑に行きたくない」等、利用者からの言葉を日々の介護記録にも書き留めるようにされている。又、以前の暮らしぶりは、ご家族や以前利用していた介護事業所のケアマネジャー、かかわりのあった方達から情報を集めておられ、意思確認が難しい場合は、しぐさや表情から把握するように取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去のサービス利用については、介護支援専門員より情報の提供を依頼しています。生活歴をご本人やご家族に伺い、居室には、馴染みの物を持ち込みしてもらい、生活環境を整えています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) バイタル測定は毎日実施しています。日々の状態を主治医に報告し、個別記録に記入しています。毎日の申し送りや、日誌を活用し、状態の把握に努めています。アセスメント表を定期的に作成し、個々の有する力を維持・拡大できる様に努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 三か月毎にカンファレンスを実施しています。入居者様の状態について意見交換をし、情報共有・ケア方針の統一をしています。ご家族には、必要に応じ連絡を取り、面会時等にも状況を伝え、ご家族との連携を生かして支援しています。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、3ヶ月ごとに見直しておられるが、状態に変化がない場合は、計画内容を継続して取り組み、変化のある場合には、その都度見直しておられる。「編み物がしたい」と利用者から希望があった際には、職員がご家族にご本人の希望を伝え、ご家族が毛糸を用意してくださっている。又、読書のお好きな利用者には、ご家族が新しい本を用意して下さる等、ご家族とともに利用者の暮らしを支えられるよう取り組まれている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) ケアプランは、ご本人ご家族が読み易いように工夫しています。目標は良い所を引き出せるようにしています。ケアプランを介護記録に記載し、日々の取り組みや評価に役立てています。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 病院受診や散髪、買い物や外出等、その時の状況に応じて柔軟な対応をしています。ご家族にもできる範囲で協力をお願いし、関係性を切らないようにしています。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 沢山のボランティアの方に来ていただいています。訪問診療や看護が受けられ、外出できない方は、出張理容や衣類の訪問販売をしてもらい、地域の方々にも色々支えて頂いています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や御家族の希望を大切にし、入居前にかかりつけ医について相談しています。その時の状態や状況に応じて、希望する病院へ受診出来るように支援しています。	
			(外部評価) これまでのかかりつけ医を受診できるよう支援されているが、利用者の状態やご家族の事情等によっては、協力医に診てもらおう変更される方もいる。定期受診は、ご家族が付き添うようになっているが、ご家族の都合がつかないような時には、職員が同行されている。歯科は、それぞれのかかりつけ医の往診を受けておられる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 週に二度、医療連携看護師の訪問があります。状態の報告や相談を行い、看護やアドバイスが受けれます。病院受診が必要な場合、介護職員と連携を取り支援しています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入退院時には情報交換を行っています。入院先の病院には定期的に顔を出し、入居様様が少しでも安心出来るようにしています。病院関係者と定期的に連絡を取り合い、早期退院に向けて相談するようにしています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居様様の状態について、主治医同席のもとご家族に説明をし、重度化や終末期に向けた話し合いを行えています。ホームで出来る事を理解して頂き、ご本人・ご家族との方針を統一し取り組んでいます。	
			(外部評価) 看取り支援について、事業所で「できることできないこと」をご家族等に説明されているが、利用者・ご家族から終末期のあり方についての希望は、具体的に聞き取ったり、支援するまでには至っていない。系列グループホームで、看取り支援を実施された際のお話を聞かせてもらった後、職員で話し合いの場を持ち、「利用者・ご家族の希望に添えるような看取り支援を行う」ことを決めておられた。 「今は、まだ元気だから」と、重度化や終末期のあり方について思いが至らないようなご家族もあるようだが、時には、ご家族も一緒に勉強するような機会を作ったり、利用者、ご家族の考えや希望について、話し合うような機会を作ってみてはどうだろうか。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時の連絡先やマニュアルを作成しています。研修等に参加して、急変時に対応できるように取り組んでいます。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 半年に一回防火訓練(夜間帯を含む)を実施しています。地震・津波を含む災害マニュアルは、法人全体で見直し予定となり、今後は、ご家族や地区の方にも災害時の避難訓練に参加して頂き、協力体制を築いていきたいと思ひます。	
			(外部評価) 年2回、火災を想定した避難訓練を実施されているが、地震・津波等についての避難訓練は、今後の取り組みとなっている。	事業所が所在する地区は、土砂災害の心配がある地域でもある。又、海岸や川からも近い。運営推進会議等も活かして、地域の方やご家族とも災害時の避難訓練を重ねられたり、持ち出し品については、東日本大震災の教訓等も活かして備えていかれてほしい。いざという時に利用者、職員が安全に避難できる方法を身につけられるよう、具体的な取り組みをすすめていかれてほしい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 自分達の対応で、入居者を傷つけたり、役割を奪ってしまわないよう、相手との距離間に十分配慮し、気が付いた時には職員間で注意しあうようにしています。また、居室で自由に過ごす時間もあります。	
			(外部評価) 職員は、利用者と一緒にゆっくり過ごすことで信頼関係作りに取り組まれている。排泄の声かけや誘導は、小さな声で行うよう職員で意識統一を図っておられる。調査訪問時、職員は食事の後、口元を拭くティッシュをそっと利用者へ渡しておられた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個人の言動を見守り、思いや気持ちに耳を傾け受容し、こちらの考えを押し付けないように心がけています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の状況に応じて臨機応変に対応しています。何事も無理強いせず、入居者様の体調や希望に合わせて支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) それぞれ、希望する店で散髪が出来るよう、ご家族にも協力して頂きながら支援しています。外出の際には、お酒落も楽しめる様に、好みの服を一緒に選んだり、鏡の前で整容するようにしています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人に合った形態で、季節の食材を使用し、目でも食事を楽しんで頂けるように努めています。入居者様も、下ごしらえや下膳ができています。誕生日等には、大きなケーキや豪華なメニューにしています。普段との違いがでて、皆さん大変喜ばれています。 (外部評価) 系列グループホーム6事業所で献立を持ち寄り、情報交換されている。調査訪問時の昼食は、郷土料理のさつま汁と、しいたけ等でダシを取った、冷しそうめんを作っておられた。ダシに使ったしいたけは、甘辛く煮て刻んで添えておられ、利用者は、「おいしいね」と、お代わりをされていた。そうめんの上に飾るネギやミニトマトは畑で採れたものを使っておられた。利用者は、コップや箸、盛り付けられた器等を、ワゴンに乗せて、それぞれの利用者の席に配っておられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスが良い献立作りをしています。三度の食事の際には必ず汁物を付け、他に10時・15時・19時に水分補給を行っています。その日の体調に合った食事を提供し、一日の摂取量を確保出来るように支援しています。食事摂取量は毎食記録しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後歯磨きを実施しています。習慣づいており、出来るところは自分で行ってもらい、出来ていない部分については介助を行い清潔保持に努めています。嚥下の悪い方には嚥下マッサージをしたり、舌磨きも行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 可能な限り、トイレで気持ち良く排泄出来るように支援しています。一人ひとりの状態観察をし、排泄パターンを把握して、使用するオムツ類が必要最小限になるように介助工夫しています。</p> <p>(外部評価) 排泄チェック表で利用者個々の排泄のパターンを把握して、職員は、利用者にとってお聞きして、トイレに誘う等して支援されている。昼間、紙パンツを使用している利用者も、日によっては布パンツにパットを使用して過ごされることもある。夜間トイレまでいくことを不安に思う利用者には、ベッドサイドでポータブルトイレを使用できるよう用意されており、体調の良い時やトイレに行きたいと希望がある時にはトイレにお連れしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 薬に頼らなくても自然な排便ができるよう、日頃よりしっかり水分補給をし、食物繊維や乳酸菌を含む食品を提供しています。適度な運動もできるように、日中の活動内容も工夫しています。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 入浴が好きな人、嫌いな人と様々ですが、個々に応じた支援ができるように努め、最低でも週に2回～3回は入浴ができています。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、入浴支援についてご家族から、「夏場はシャワーでもいいので、2日に1回は入らせてほしい」と要望の声があった。事業所では、利用者の希望をお聞きしながら、1日おきに入浴できるよう支援されており、かゆみや湿疹等がある利用者には、医師とも相談しながら、毎日入浴して清潔に保てるよう支援されている。利用者の体調によっては、浴槽で温まった日の翌日はシャワー浴にする等、体への負担等も踏まえて支援されている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 体調に合わせて適宜休息がとれています。入眠時間は個々に合わせ、室温にも配慮し、快適に過ごせるよう支援しています。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬に関する情報は、薬情報で確認をしています。薬の変更があった場合は、日誌等で申し送り、その後の状態について観察するようにしています。誤薬防止の為、内服の前には名前と日付の声だし確認を徹底しています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに役割分担があり、職員も一緒に過ごして作業を見守っています。法人バザーや家族会等で出品する作品作りをしたり、室内に閉じこもらない様に畑仕事や花の世話、散歩やドライブ等様々な関わり方をしています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候が良い日は散歩・ドライブ等外出ができるように心がけています。自宅に帰りたいと希望される方には、ご家族等のご協力のもと実現しています。 (外部評価) 毎日、職員は利用者と一緒に食材の買い出しに近くのAコープに出かけておられる。近くの公園や桜並木を散歩したり、地域の桜の名所にお弁当を持ってお花見に出かけておられる。利用者が幼いころ馴染みのある善福寺「山田薬師」のお祭りの際には、お参りに出かけておられる。毎年行われる法人のバザーには、利用者が作った雑巾や牛乳パックの椅子を出品して、利用者と一緒に販売された。利用者は、上手に声をかけて販売され、又、ご自分達もバザーで買い物を楽しまれた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 所持金については、ご本人やご家族の希望にそって対応しています。自分で管理する人、ホームで管理する人と様々ですが、いつでも使用出来るようにしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望がある場合には、ご家族や友人へ電話や手紙のやり取りが出来るよう支援しています。年賀状を出したり、これまでされてきた事が継続出来るように支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 共用の空間には、飾りや花々を飾ることで季節感を感じられるように工夫し、物品の整理整頓をし、居心地よく過ごせるように配慮しています。会話のきっかけになればと写真を掲示したり、アルバム作りをしています。</p> <p>(外部評価) 玄関には、ひまわりの花が生けられており、七夕の笹飾りが飾られていた。居間には野菜の収穫時や毎月の行事時の様子の写真・家族会の写真も掲示されていた。芝生の庭で、時にはお茶を楽しまれたり、洗濯物を干したりされている。畑には里いもやトマトが植えられており、特に大きくなってきているスイカは、利用者、職員も楽しみにされていた。調査訪問時、居間では、利用者は、牛乳パックをセロテープで固定して椅子を作る下準備をされていた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 入居者同士で思い思いに過ごせるように工夫しています。屋外にはイスやベンチを設置し、散歩の際に休憩場所としています。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 居室はご本人が過ごしやすいように、使い慣れた物、好みの物を自由に持ち込んでもらえます。居室で音楽を聴いたり、家族の写真を沢山飾り眺めたり、冷蔵庫を持ち込み、自分の好きな時間に好きな物を飲食されています。</p> <p>(外部評価) 鏡台を持って来られている利用者は、毎朝鏡に向かいお化粧をされている。ベッドの枕元には、時計やラジオ、日記帳を置いている方もみられた。ベッドの手すりに電気スタンドを取り付け、夜間、電気を付けて本を読む方もあり、ご自分が好きな時に消灯される。大好きな力士や演歌歌手のポスターを貼っておられたり、亡きご主人の写真や家族の写真、お孫さんの写真も大切に飾っておられた。冷蔵庫を置き、お好きな飲み物を入れて飲みたい時に飲む方もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) ベッドの高さや位置を、ご本人の体格や動作しやすいように調整しています。タンスの中の衣類は、ご本人と共に整理し自分で自由に選んで着用できるようにしています。夜間は、ベッドサイドに鈴やセンサーマットを使用したり、移乗動作等を見守りしています。</p>	